

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派	会派に属さない議員
表題	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin-right: 10px;">1</div> 安田市政3期目に実現をめざす「子ども・子育て支援」施策は？		
趣旨	<p>子ども・子育て支援は、日本社会の最優先課題だ。一方、市長の選挙公約に、具体的施策がほとんど無かったのは残念だ。市長はこの4年間で、子どもに優しい向日市の実現をめざし、どのような施策を行うつもりか、考えを問う。</p>		
事項 (質問・提案等)	<p>政府は「異次元の少子化対策」を掲げ 2024 年度から 3 年間かけ「こども・子育て支援加速化プラン」を集中的に取り組むと発表した。その具体化はこれからだが、「異次元」というには寂しすぎる水準であり、国をあてにしているは先に進めない。市町村の率先した取り組みが、国の施策の水準を決めるとも言える。向日市の子ども・子育て支援は、市長の腹のくくり方ひとつだと考える。</p> <p>(1) 3年前、市長は「子育て支援は向日市の最優先課題である」と表明された。現在もこの考えに変わりはないか、改めて確認したい。</p> <p>(2) 任期中に実現をめざす施策について、考えをお聞きする。</p> <p>①市長の選挙公約では、具体的な子育て支援施策は、ほとんど触れられなかった。国の施策の具体化が現在進行中という事情があると思うが、任期の4年間で、どのような施策の実現をめざそうとしているのか、お聞きしたい。</p> <p>②泉房穂・元明石市長が、「明石でできることは、全国どこでもできる」と述べた「5つの無償化」についてどう考えるか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 18才までの医療費無償化 2. 第2子以降の保育料無償化 3. 給食費無償化 4. 無償の公共施設の遊び場 5. 無償のおむつ定期便 (0才児見守り訪問) <p>③向日市独自の支援策について、考えをお聞きする。</p>		

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派	会派に属さない議員
<p>表 題</p> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin-left: 20px;">1</div> 安田市政 3 期目に実現をめざす「子ども・子育て支援」施策は？			
<p>事 項 (質問・提案等)</p> <p>(3) この間の懸案の課題の進捗について</p> <p>①実質的な待機児童 (保留児童) ゼロの実現</p> <p>国基準の待機児はゼロとなったが、保育所入所の要件を満たし、入所を希望しながら入所できない子ども、いわゆる保留児童は相当数おり、その実態が見えなくなっている。保留児童数を公表し、ゼロをめざすべきではないか。見解と、過去 3 年間の保留児童の人数、今後の見通し、対策をお聞きする。</p> <p>②そのための保育士確保策</p> <p>国が保育所利用要件の緩和や保育士配置基準の見直しを行う方向と言われ、今後保育士確保はますます重要な課題だ。</p> <p>この間の保育士確保策の具体的成果について説明頂きたい。保育士奨学金制度の拡充、保育士の待遇改善、その他新たな施策についての考えをお聞きする。</p> <p>③公立保育所のサービス改善</p> <p>向日市で保育を受ける子どもは、公立でも民間でも同等のサービスを受けられるべきだ。温かいごはんの提供、布団のリースについての進捗状況は？特に、向日市の中学 3 年までの子どもで、温かいごはんを提供されないのは、公立保育所の子どもだけという状態は、大至急解消して頂きたい。実現の見通しをお聞きする。</p> <p>④私立幼稚園への助成</p> <p>議会が採択した私立幼稚園への助成拡充について、検討に進捗があれば報告願う (進捗が無ければ答弁は不要)。</p>			

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派	会派に属さない議員
表 題	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin-right: 10px;">2</div> 「子どもの居場所づくり」について		
趣 旨	<p>4月1日から「子ども基本法」が施行された。「こどもまんなか社会」実現にむけた基本方針の中で、「子どもの居場所づくり」の重要性が示されたが、本市の現状と今後に向けた考えをお聞きする。</p>		
事 項 (質問・提案等)	<p>国の「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」は、「常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取組・政策を我が国社会の真ん中に据えて、こどもの視点で、こどもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、こどもの権利を保障し、こどもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しする」としている。</p> <p>そして今後のこども政策の基本理念として、①こどもの視点、子育て当事者の視点に立った政策立案、②全てのこどもの健やかな成長、Well-being の向上、③誰一人取り残さず、抜け落ちることのない支援、などが謳われ、その中で「全てのこどもが、安全で安心して過ごせる多くの居場所」の重要性が示された。</p> <p>そして、新しく「こどもの居場所づくりに関する指針（仮称）」を策定するとし、そのための「こどもの居場所づくりに関する調査研究」が行われ、その報告書が今年3月に公表された。</p> <p>向日市でもこの数年来、不登校の当事者や支援者等により、様々な事情を持つ子どもの居場所づくりの取り組みが進められている他、すべての子どもを対象としたフリースペースも開設され、運営されている。これは学校と家庭以外に「こどもが、安全で安心して過ごせる場所」が地域に少ないため、子どもたちが自分に適した過ごし方ができるような居場所が必要だと考える市民等が取り組まれているものだ。</p> <p>しかし取り組んでおられる市民の皆さんは、場所の確保や、必要とする当事者に情報を届けることなどに苦勞されており、行政の支援を期待されている。真剣に取り組む市民と行政が協力・連携することで、向日市においても地域における子どもたちの居場所づくりが大きく進むことを願って、以下お聞きする。</p> <p>(1) 「こども・若者が安心して過ごすことができる場の整備」について、向日市の現状をお聞きする。現在向日市内に、家庭や学校の教育活動以外の、公助・共助によ</p>		

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派	会派に属さない議員
<p>表 題</p> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin: 10px 0;">2</div> <p style="margin-left: 20px;">「子どもの居場所づくり」について</p>			
<p>事 項 (質問・提案等)</p> <p style="margin-left: 40px;">り成り立っている居場所は、どのようなものがあるか？</p> <p style="margin-left: 40px;">(2) 向日市の現状は、放課後や休日に子ども・若者が安心して過ごすことができる場が少なく、学校外で子どもたちが自由に過ごせる権利が保障されているとは言えないと考える。向日市行政としては、現状に対してどのような課題意識を持っているか。</p> <p style="margin-left: 40px;">(3) 向日市の子どもたちに多様な居場所づくりを進めることについて、向日市はどう取り組む考えか？取り組みを進める組織体制は？</p> <p style="margin-left: 40px;">(4) 向日市内で子どもの居場所づくりに取り組んでいる様々な個人や市民団体との連携や協力が重要だと考える。向日市行政の認識と、今後具体的にどのような連携・協力ができるとお考えか。</p>			

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派	会派に属さない議員
表 題	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px; margin-right: 10px;">3</div> 向日市の事業系一般廃棄物収集運搬について		
趣 旨	<p>以前より、向日市内外の事業者から「向日市には一般廃棄物収集運搬の許可業者がなぜ2社しか無いのか」「2社しかないので、収集運搬料金が果たして適正なのか疑問がある」という声を聞いている。本市の見解をお聞きする。</p>		
事 項 (質問・提案等)	<p>一般廃棄物の収集運搬は市町村の仕事だが、向日市は、家庭系ごみの多くを事業者数社で構成する組合に収集運搬を委託しており、事業系ごみについては、すべてを向日市が許可を出した民間の許可業者が収集運搬を行っている。</p> <p>事業活動に伴って出る一般ごみの収集運搬は、許可業者以外に委託することはできない。ところが、この事業系ごみの収集運搬業の許可を、向日市は2社にしか出していない。一方、宇治市など京都府南部の市町村は、十数社から四十数社に許可を出している。長岡京市・大山崎町も向日市と同様であり、乙訓地域だけ極端に少ないのが実態だ。</p> <p>(1) 向日市に収集運搬の許可業者が極端に少ないことについて</p> <p>2社しかなければ競争原理は働かず、事業系ごみを排出する向日市民等にとって、実質的に選択の余地は無いに等しい。なぜ向日市では、許可業者が極端に少ないのか？また収集運搬料金が適正であることは、どのようにして担保されているのか。</p> <p>(2) 現在、向日市は一般廃棄物収集運搬業許可の新規申請を受付けているか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け付けていない場合、その経緯・理由をお聞きする。 ・受け付けている場合、なぜ新規許可が無いのか。また許可の要件はどのようなものか。 		